

外来担当医表

午前診療 ■受付 8:00~11:30 ■診察 9:00~
 午後診療 皮膚科を除き、予約制になります。お問い合わせください。

診療科目	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
消化器 内科	倉本貴典 佐々木駿		北川浩子 太田和寛	小島敦史	小島敦史 北川浩子	北川浩子	小島敦史 小島博	小島博	倉本貴典		
循環器	藤本勇希	川瀬良太	川瀬良太 山口真由子 太田垣宗光		乾洋勉		川瀬良太		川瀬都		
総合診療	石田智 1・5 久保祐人 2・3 野瀬陽平 4				小島敦史 島卓史		小島敦史 長谷部圭司 島卓史	金田浩由紀 長谷部圭司	長谷部圭司		第1 倉本貴典・中野斉 第2 川瀬良太・山口真由子 第3 太田和寛/川口真平・中野壽郎 第4 高木孝治・丸山修平 第5 北川浩子・中野斉
糖尿病内科				成野朋子				豊田長興 (内分泌代謝内科)		城総一	
呼吸器科					谷口隆介 1・3・4 和泉宏幸 2・5		辰巳明利	金田浩由紀			
整形外科	三宅克広 前田智子 南龍也	南龍也	三宅克広 前田智子 岡吉倫弘		本田院長 三宅克広 前田智子	本田院長	三宅克広 大原英嗣	南龍也 2・4	本田院長 宇佐美嘉正 岡崎辰也		第1 宇佐美嘉正・山崎聡 第2 徳山文人・宇佐美嘉正 第3 三宅克広・宇佐美嘉正 第4 徳山文人・宇佐美嘉正 第5 三宅克広・本田院長
外科	石田智 1・5 久保祐人 2・3 野瀬陽平 4		下村知雄 理内優直		島卓史		下村知雄 島卓史	下村知雄 1・3・5	理内優直		
乳腺外科			下村知雄			山口正秀 1・3・5					
皮膚科				松田智子	大西早百合				伊藤真未		
形成外科											萩野真梨子 2・4
神経内科		石田志門						塚原彰弘			
脳神経外科	山田正信										
泌尿器科	高木孝治	高木孝治 2・4 (腎不全外来)	高木孝治		能見勇人		高木孝治 長谷部圭司	能見勇人 長谷部圭司	高木孝治 長谷部圭司		
禁煙外来										川瀬良太	
救急	石田智 1・5 久保祐人 2・3 野瀬陽平 4				島卓史		島卓史				
歯科	乙社礼 1・3・5 本橋悦子 2・4	中野良信	中野良信 向井達也 2・4	中野良信 向井達也 1・3・5	中野良信	中野良信	中野良信	中野良信	中野良信	乙社礼	

社会医療法人蒼生会 蒼生病院
 TEL 072-885-1711(代表)
 TEL 072-885-1712(地域医療連携室)

そうせいだより

2020年
冬号

—信頼される地域医療を目指して—



蒼生病院
 リハビリテーション科
 リハビリステーション室

地域を守るお医者さん Vol.4
 特集コラム 消化器外科 坪内優直 「痔のおはなし」
 病棟紹介 4F
 病棟紹介 5F
 病棟紹介 6F
 外来紹介
 蒼の里訪問看護ステーション紹介

地域を守るお医者さん Vol.04



こう整形外科

電話：072-883-7000

門真市島頭3丁目3番5号クレール白鳩 1F

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～	○	○	○	○	○	○	-
12:30							
16:30～	○	○	○	-	○	-	-
19:00							

こう整形外科は、平成18年6月に開院しました。正しい診断、わかりやすい説明、最適な治療、丁寧な対応をモットーにしてきました。首・肩・腰・ひざ関節の痛みや手足のしびれ、骨粗鬆症、リハビリテーション、スポーツ障害、装具などに対応しており、必要な場合はレントゲン、骨塩定量測定検査、血液検査、尿検査などの検査も行っています。また、より高度な検査・治療が必要な疾患に対しては、積極的に専門病院へ紹介しています。

蒼生病院には、整形外科では手術はもちろん診断や治療の難しい疾患について相談させ

ていただいたり、緊急の場合は診療時間外にみていただいたり、本当に感謝しています。また、MRI等の検査はもちろん、内科、外科、神経内科、皮膚科などへもよく紹介させていただいています。

蒼生病院自体も新設され、建物はもちろん最新の設備や機械が導入され、さらに各科の専門医も招聘され、ますます充実しました。これからも蒼生病院と積極的に連携させていただき、地域の皆さまに健康で痛みのない生活を送っていただけるように、お手伝いさせていただきます。



痔のおはなし

医師 坪内 優宜

痔は**痔核**、**裂肛**、**痔ろう**の三種類があります。

痔核には内痔核と外痔核があります。原因は便秘、排便時のいきみ、長時間の同一姿勢などがあります。

内痔核は肛門の内側にいぼ状の腫れができた状態をいいます。排便時に出血を伴うことがあり、病状が進行するといぼが肛門外に出てくるようになり痛みが起ります。軽い場合は軟膏や坐薬で症状が和らぎます。硬化剤注入の治療もあります。強い痛みを伴う場合、出血が多い場合は手術による切除が必要です。

外痔核は肛門の外側に血まめができた状態をいいます。出血は少ないが、強い痛みを伴います。血まめを除去すると症状が改善します。

裂肛は肛門の皮膚が切れた状態をいいます。いわゆるきれ痔のことで、排便時に痛みと出血を伴います。硬い便を排泄する時に肛門の皮膚を傷つけることが切れることの原因です。排便時に痛みを伴うことから、排便を我慢することで便秘になり、さらに症

状が悪化することになります。慢性化すると潰瘍、肛門狭窄を起すことがあります。排便コントロールや軟膏、坐薬でほとんどの場合は改善します。慢性化で肛門狭窄になると手術が必要になる場合があります。

痔ろうは肛門の内側のくぼみに便が入り、細菌感染することで起り、肛門周囲膿瘍を伴います。肛門周囲膿瘍の症状は肛門周囲に膿がたまり、赤く腫れ、痛みや発熱を起します。ストレス、アルコールの過剰摂取、喫煙などが原因の一つとされています。肛門周囲膿瘍に対しては切開排膿術を行い、痔ろうに対しては基本的には手術が必要です。

痔の予防として

- 強くいきみすぎず排便時の負担を減らす。
- 長時間の同一姿勢で肛門がうっ血しやすくなるので、適度な休息を取る。
- 生活習慣、食生活の改善による便秘の改善や下痢の予防。
- 入浴による血行の改善、などがあります。

肛門の痛み、腫れ、できもの、排便時の出血、痛みなどの症状がございましたら、ぜひ外科外来にご相談下さい。



❁ 6階病棟 ❁

6階病棟は、病床数50床の内科病棟です。主に呼吸器疾患、心不全、肝機能障害、消化器系疾患の方が多く入院されています。病棟スタッフは看護師25名、看護助手8名、病棟クレーク1名が在籍しています。明るく、笑顔で心掛け日々の看護ケアを提供しています。

6階病棟に入院されている患者様は平均年齢80歳代で、ほとんどの方が日常生活に介助が必要です。患者様が寝たきりにならないよう、病状が安定したら日中車椅子で塗り絵や折り紙等をする時間を作り、気分転換が出来るように関わっています。また丁寧な声掛けをする事で患者様に安心して過ごして頂けるよう努めています。

これからも丁寧な対応を心掛け、患者様に静かな療養の提供を出来るよう心掛けていきます。



❁ 外来 ❁

いつも、当院を選んでいただきありがとうございます。皆さんが病院に来られてから帰宅の途につくまでの間、安心して治療に専念していただけるように心がけています。皆さんに満足いただける病院づくりを心掛けています。待ち時間の間、体調がさらにすぐれない、長時間椅子に座って過ごす足腰が痛くつらくなってきたなど、ございましたら近くの職員にお申し出ください。

外来職員を紹介します。「薄紫に黒のパンツ」は医師事務作業補助者という職種で、外来では医師の診察補助で書類仕事や予約などを担当しています。「紺色に白のパンツ」は看護師です。外来・救急・内視鏡室・手術室いろんな場所で働いています。これからもよろしくお願いします。



❁ 4階病棟 ❁

4階病棟は、外科・泌尿器科・内科・地域包括の混合病棟です。外科では、消化器疾患を中心に、胃癌や大腸癌・胆石やヘルニアなどの手術を行っています。また、泌尿器科では、尿管結石や前立腺肥大、膀胱癌などの患者様が多く、内科では、肺炎などの呼吸器疾患や糖尿病など内分泌疾患の患者様が入院しています。地域包括病棟では、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への支援を行っています。

退院後の生活を見据えた看護の提供ができるよう、薬剤師やリハビリスタッフなどと連携し、スタッフ一同取り組んでいます。



❁ 5階病棟 ❁

5階病棟は整形外科を主とした病棟です。

骨折はどの年代の方にも起こりうるため、小児から高齢の方まで幅広い年代の方が入院されています。

主な治療は手術療法で、骨折の他にも腰部脊柱管狭窄症、腰椎ヘルニア、変形性股関節症、変形性膝関節症など様々あり、当院では一番手術が多い科となっています。

入院時より早期退院を目指して、他職種と共同で定期的にカンファ

レンスを開催し、日常生活動作が入院前の状態に近づくよう支援しています。突然の事故や転倒で余儀なく入院生活を強いられる患者さんが多いので、安心して療養できるよう安全・安楽に配慮をし、思いやりとやさしい看護を提供することを目標にスタッフ一同取り組んでいます。



新型コロナウイルス感染防止対策

●手洗い

家の中や外には目には見えないたくさんの菌が付着しています。菌は目に見えないので知らず知らずのうちに菌を持ち込んだり、持ち出したり、広げたりすることが考えられます。手洗いは感染経路を遮断するためにとっても大切です。アルコール手指消毒も有効です。



さあ、みんなで手をあらおう!!



蒼の里訪問看護ステーション

蒼の里訪問看護ステーションも開設してはや4年が経ちました。現在看護師5名、理学療法士5名、作業療法士3名、事務員1名のスタッフが在籍しています。在宅では介護保険や医療保険を利用して、看護師や理学療法士が医師の指示のもと自宅に訪問しリハビリ・点滴・排泄コントロールカテーテルの管理・薬の管理等を行うことができます。訪問を受けている利用者様からは「最初は自宅に来てもらうのに抵抗があったが来てもらえてよかった。」「きてくれたら安心する。」などの

言葉を聞くことが増え、やりがいにつながっています。在宅での療養生活を利用者様の意向に沿えるように病院スタッフ・ケアマネージャーさん・ヘルパーさんと協働して支援していきます。



❖ 認定看護師ってなに？

認定看護師とは特定の看護分野において熟練した看護技術を知識があると認められた看護師をいいます。当院には皮膚・排泄ケア認定看護師、緩和ケア認定看護師と2名の認定看護師が在籍しています。院内でのケアだけでなく、褥瘡(床ずれ)、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)、癌による痛み止めを使用している、化学療法を行っているなどで訪問看護を利用している方に同行訪問を開始しました。少しでも在宅で療養されている方のお役に立てればと思っています。お困りのことがあればいつでもご相談ください。

